

登録コード	F3C15440	開講年度	2026					
授業科目	化学・材料英語Ⅱ					担当教員	長田 光正 他	
英文授業名	Chemistry and Materials English II					副担当		
単位数	1	講義期間	後期(集中)	曜日・時限	集中・不定期	対象学生		
講義室				授業形態	演習	遠隔授業科目		備考
信大コンピテンシー	非該当							
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素					⇔	【授業の達成目標】	
	2 2 Fカリ							
	【2022年度以前カリキュラム対象】現代の社会問題を見出し、工学的に解決する能力					⇔	化学・材料に関する専門分野の英語文献を読解し、必要な情報を得ることができる。	
	2 4 Fカリ・化学材料, 2 3 Fカリ・化学材料							
	【2023年度以降カリキュラム対象】共通教育による幅広い教養と、化学・材料に関する基礎科学を理解できる能力					⇔	化学・材料に関する専門分野の英語文献を読解し、必要な情報を得ることができる。	
	【2023年度以降カリキュラム対象】化学・材料に関して、実験方法を理解し、専門的に解析および考察できる能力					⇔	化学・材料に関する専門分野の英語文献を読解し、必要な情報を得ることができる。	
(2)授業で学べる「テーマ」	その他							
(3)全学横断特別教育プログラム								
(4)授業の概要	化学・材料の研究のためには英語で書かれた多くの文献から情報を得ることが不可欠であり、そのためにはそれぞれの専門分野における専門用語や英語表現に慣れ、文献の内容を正しく理解できるようになる必要がある。卒業研究のために配属された研究室において、専門分野の英語文献を題材とした各指導教員による指導を受け、読解力を高めることを目的とする。							
(5)授業計画	各研究室の指導教員が個別に決定する。							
(6)成績評価の方法	化学・材料の専門分野における英語文献の読解力に対して、各研究室の指導教員が総合的に判断する。							
(7)成績評価の基準	各研究室の指導教員が評価する。評価の基準としては以下のような基準が例として挙げられる。日々相当な努力を重ね、卓越した英語読解力を身につけた場合には、秀 優れた英語読解力を身につけた場合には、優 一定の英語読解力を身につけた場合には、良 標準的な英語読解力を身につけた場合には、可 標準的な英語読解力が身につけていない場合には、不可 と評価する。							
(8)事前事後学習の内容	事前に文献をよく読み、意味の分からない単語は辞書で調べておくことは最低限の事前学習である。実施前にできる限り内容を理解しておくことが必要である。							
(9)履修上の注意	特になし							
(10)質問,相談への対応	各研究室の指導教員が個別に対応する。							
(11)学生へのメッセージ	英語の能力は卒業研究遂行のためばかりでなく、企業や大学院など、どこに行っても必要なものなので、各指導教員の指示に従って真剣に取り組んで欲しい。							
(12)その他								
【教科書】								
【参考書】								